

岩手県立中央病院

STELLAR の使い勝手の良さや導入メリットを、実稼働している施設にて確認
システムの導入後は複数のシステムで管理していたデータを統合管理できるようになり業務が効率化



岩手県立中央病院 副院長 相馬先生

導入経緯

電子カルテの更新と併せて導入を検討 県内での評判が決め手に

以前使用していた文書システムでは使いづらいという声が院内で多く上がっており、電子カルテ更新のタイミングに合わせて文書のシステムについても更新を検討していました。そんな中、いくつかのシステムの導入を検討していたおり、岩手県内で既に STELLAR を導入されている施設からの紹介があり、施設へ見学に伺い、実際に使用されている方々から使い勝手や導入メリットなどをお聞きし STELLAR の導入を決定しました。

Sirius (生理検査部門システム) については、同じく今回の更新タイミングに合わせて更新を検討していたところ、前システムメーカーより Sirius を紹介頂き導入を決定しました。

一元管理による業務の効率化

今までは様々なシステムを使用していたため、使用・参照する際に別々のアプリを起動しなければならぬという手間がありました。それに代わり STELLAR では文書システムとしての使い勝手に加え、画像や診療データなどを含めて参照する事が出来ることによりシステムの簡素化が行え、業務の効率化を図れるところにメリットを感じ導入を決定しました。



生理検査室のスタッフの皆さん

院内文書の整備と各種データの統合作業

システム導入前までは、いくつかの文書システムで 200 以上の文書を使用しており、それらを 1 つのシステムへまとめる作業に苦勞をしました。また、当初のスケジュールでは期間も厳しく文書作成や最終チェックなどの余裕を十分に設けることができませんでした。皆様の協力もあり、何とか稼働出来る形になりました。

生理検査システムについては、各診療科で行っている自科検査エコーなども、全て生理検査部門システムに統合することにし、オーダマスタの整備や無線接続などのインフラ構築などにも苦勞しました。

病院独特の運用フローに沿ったシステム構築を行う必要があり、現場の方とアストロステージで、認識を合わせを行うことに時間がかかりましたが、導入作業中に何度も打ち合わせを重ねることで、運用を変えず構築を行いました。

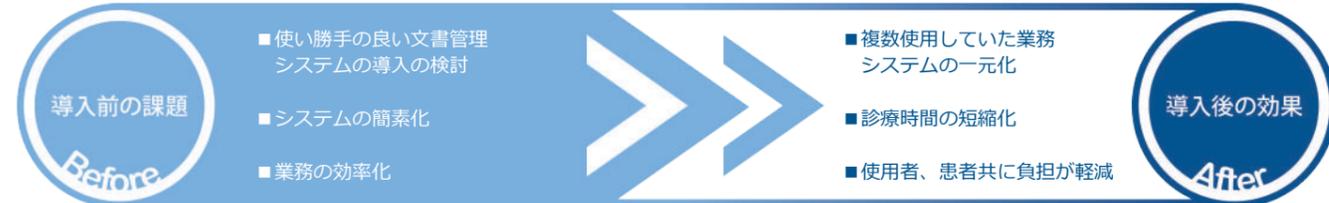
導入効果

統合により各種業務の効率化が実現

導入前までは複数システムを使用していたこともあり、いくつかのメニューからアプリを起動して使用しておりました。しかし、STELLAR を導入した事でそれらのシステムが 1 つに統合され、1 つのアプリだけで診療に使用できるようになりました。それに加え、前システムでの問題点であった画像展開や文書展開の速度も、STELLAR に切り替えた事により、大幅に速度改善し、診療時間が短くなり、当院はもちろんのこと、患者対応にも大きなメリットとなりました。また、細かい操作感も感覚的に使用できるようになった部分が多く、使用者の負担も軽減されました。

生理検査部門としても、エコー画像を複数のシステムへ格納していくつものシステムを使用しておりましたが、データがまとまる事で使用し易くなり、前システムでは出来なかった動画対応についても、問題無く対応いただけた点も非常に助かっております。生理レポートを記載する際には、過去の文書と比較しながら記載できる所は、大きな業務改善ポイントとなりました。

また、稼働後もレポート帳票の修正要望を素早く柔軟に対応して頂けることで、より現場にあったシステムが構築いただけたと考えています。このような様々な撮影機器とオーダや結果連携を行える環境は、他システムでは難しいと思います。各検査の実施状況なども確認しやすくなりました。



岩手県立中央病院：システム導入時期 / Feb 2018



岩手県は、四国 4 県に匹敵する広大な面積を有していますが、当院は県営医療の中枢機関として、県都盛岡市をはじめ、県内 33 市町村はもとより、県外からも多数の患者が来院しています。
また、信頼される病院づくりを運営の基本とし、他の医療機関との機能分担と相互連携を図りながら診療にあたっています。

所在地：岩手県盛岡市上田 1 丁目 4-1
病床数：685 床
診療科：血液内科・総合診療科・腎臓/リウマチ科・がん化学療法科・神経内科
精神科・呼吸器内科・消化器内科/内視鏡科・循環器内科・小児科
乳腺/内分泌外科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科
心血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科
リハビリテーション科・放射線科(診断科/治療科)・歯科口腔外科・麻酔科
ペインクリニック科・病理診断科

今後の方針

高度急性期医療を推進する県民に信頼される親切であたたかい病院という基本理念の元、良質な医療の提供、優れた医療人の育成、地域医療機関への診療支援、救急医療の充実、災害医療の体制整備、臨床研修体制の充実、健全で効率的な病院経営を行動指針としております。中核機関として救急患者も多く、今後さらなる救急患者の増幅が予想されるため、救急医療の効率化を行う予定です。また、地域医療連携にも力を入れており今年中には地域連携システムを展開できるように進めていきます。

今後の期待・要望

今後は各機能のさらなる充実や、見やすいレイアウト、操作面では 1 クリックでも減らし業務効率向上へ繋がるように更なるシステムバージョンアップを期待しております。また、現状ある機能を使い切れていない部分もありますので、細かい機能も使えるようこれからもフォロー頂きたいです。
生理検査部門としても、一層システムを活用できるように稼働後の柔軟で迅速なフォローを期待しています。

システム構成図

